

普通鋼電炉工業会
会長 渡邊 誠 殿

皆様、あけましておめでとうございます。

只今ご紹介いただきました普通鋼電炉工業会会長を務めております JFE 条鋼の渡邊でございます。

本日は日本鉄リサイクル工業会新年賀詞交歓会、誠におめでとうございます。また、お招きいただきまして大変、光栄でございます。本日は約 470 名の方々が出席いただいているとのことで熱気が伝わってまいります。

皆様方の鉄スクラップ産業として活動があって初めて電気炉が稼働するということがございます。日頃からの活動、ご支援誠にありがとうございます。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

この会が始まる前に伊藤会長とお話させていただきました。普電工としても日本鉄リサイクル工業会としても雑品スクラップ問題をいかに解決するのが大きな課題です。昨年の秋に一度、会談させていただいた以降、連携をとりながら進めておりましたが、本日、お話しまして伊藤会長とタッグを組んで、普電工として解決していかなければならないと強く思いました。

電炉業界、鉄鋼業界も含めまして昨年の後半から業況がやや失速いたしました。今年の上期はなかなか大変な時期だと思っております。電炉業界の活動水準が弱まってきますと皆様方の活動も弱まってくるということになりますので、2020 年下期に向けて電炉業界としても頑張っていきたいと思っております。

現場では様々な方法でスクラップの検収を行なっておりますが、いずれ検収の方法も AI 化するのではないかと思います。いつになるのかわかりませんが、来たるべき AI 化に向けて、日本鉄リサイクル工業会と普電工が連携を取り、活動していきたいと思いません。

最近では世界的に「自国ファースト」という方々が増えてきているようです。是非、電炉業界と日本鉄リサイクル工業会の方々におかれましては、「自社ファースト」にならずに、昨年流行りました“ONE TEAM”で厳しい状況の中、乗り切っていきたいと考えております。今後ともご協力、ご支援のほどよろしくお願い致します。

最後になりますが、本日ご出席の皆様のご多幸と日本鉄リサイクル工業会の益々の発展を祈念いたしまして挨拶と代えさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。